

図書館報 ぶらっつ★篠崎 029号

CONTENTS

P2 特集

「**気軽に読みたい短編集**」

P4 スタッフのセレクション!

「**山椒大夫**」

江戸川まいこんぐ

「**都立篠崎公園**」



しのざき文化プラザ内

篠崎図書館ホームページがリニューアル!



この度は、図書館の資料を手にとっていただく際の手助けになる情報の充実を図るべく、下記3項目についてリニューアルしました。

- ① 新着資料…「図書」「視聴覚資料」を分け、見やすくなりました。
- ② テーマ別調べ案内…「震災時のころえ」など特定の事柄を調べるのに役立つ情報を集めたリーフレット「パスファインダー」を集めました。
- ③ 篠崎周辺についての調べ方…篠崎駅付近の施設案内、地理案内、篠崎についての質問の回答実例集や調べ方をみる事が出来ます。

ホームページURLはこちらです→<http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/>
※それぞれの詳しい内容は改めて「ぶらっつ☆篠崎」にてご案内します。



はじめまして、篠崎図書館新館長の吉井です。

——前任の館長・岩佐よりご挨拶

この度、年度替りの3月31日をもって、東葛西図書館に異動となりました。篠崎図書館では、3年3ヶ月と短い期間でしたが皆様方より格別のご厚情を賜りながら、何とか運営をして参りました。誠に有り難く、厚く御礼を申し上げます。

東葛西図書館におきましても、地域の皆様に喜ばれる様精一杯努力致す所存で御座います。同じ江戸川区内の図書館ですので何かとお世話になる機会も有ると存じます。今後ともご愛顧を賜ります様、宜しくお願い致します。

——新任の館長・吉井が今後の取り組みを紹介します

この度、平成25年4月1日付で、篠崎図書館と篠崎子ども図書館の館長として着任いたしました。私は山梨県の山中湖情報創造館、練馬区立南田中図書館、新宿区立角筈図書館を経て、4館目となります。篠崎文化プラザ、子ども未来館、篠崎子ども図書館の設置の経緯や背景を認識し、学校・地域と関係を維持しながら、さらなる連携を深め、利用の拡大に繋げる様、相互の連携を強化し、相乗効果を創出します。

また、篠崎図書館ではスタッフが展示に力を入れております。私もスタッフに触発されて小規模ですが、入口正面にある自動貸出機の間に毎月テーマを決めて展示を行います。今後も皆様の更なるご支援を心からお願いいたします。



岩佐館長

吉井館長

イベント情報

お問合せ: 篠崎図書館 (03-3670-9102)まで

ライブラシネマ篠崎 4月20日(土) 14:00~16:00

コンサート&トーク 5月19日(日) 14:00~15:30

「リトル・ロマンス」(1979年、アメリカ) 監督:ジョージ・ロイ・ヒル

「ルネサンスのリユート音楽」 講師:橋口淳一 ※申込制

スタッフのセレクション!

第29回

「山椒大夫」(「森鷗外」所収)

森鷗外著 筑摩書房 BFモ 篠崎ほか所蔵

学生時代に、一度は読んだことがある、読書感想文を書いたことがある方も多いと思います。児童文学では「安寿と厨子王」として有名ですね。この作品は、鷗外の創作ではなく、中世の説教節「さんせう大夫」がもとになっている歴史小説です。

物語は人買いに騙され母と離ればなれになった安寿と厨子王の姉弟の苦難と、自らの命を犠牲にして弟を救う姉の精神の尊さが主題となっています。人身売買、家族の絆、姉弟愛、神仏の加護、自己犠牲、奴隷解放、出世話、教訓話など、さまざまな内容が盛り込まれています。

特に弟を逃がして自死してしまう姉の姿は哀しみ以上に献身の愛を強く感じます。また、盲人となった母が

姉弟の名を歌う場面は、再会を果たし抱き合う母と弟の姿より、胸に沁みました。

この物語は、決して昔話ではなく、現代社会にも通じる話ではないでしょうか。残念ながら、家族より自分、他人より自分が大事、社会の決まりや約束事を守らないことにより、事件や事故が絶えず起き、多くの命が失われています。「他者」への愛が失われつつあります。自分を大切にすることはもちろんですが、人間はひとりでは生きていけません。だからこそ、「他者」と深く関わり、理解し、尊重しあうことが求められているように思います。

昔読んだ本を改めて読み返すとき、その年齢により印象や琴線に触れる部分が異なります。読んだことがある方も、ぜひもう一度手に取ってみて下さい。

篠崎図書館で働くスタッフが選んだおすすめ本を紹介します。

江戸川まいにんぐ



発掘 第29回

「都立篠崎公園」

今回はお花見で賑わう都立篠崎公園を取り上げてみます。

私はウォーキングに利用しています。篠崎第二小学校前の入り口「南-1」を起点に、公園の一番外側を歩くと1周で1.5キロ、20分前後で回れます。歩きながら周囲を観察すると、ボランティアで花を植える人、ベンチに集まって将棋を打つおじさん達、幼稚園帰りの母子グループ、公園は様々な人の生活の一部になっています。

この平和な公園も第二次世界大戦の頃は高射砲の陣地でした。そして今は防災の拠点として広域避難場所に指定されています。公園の中の複数のトイレが災害時応急トイレを併設しています。もしかしたら毎年行われる区

江戸川区内のイベントやスポットをスタッフが調査して身近な情報をお届けする、地域密着型のコーナーです。

民まつりは公園に避難する予行演習になっているかもしれません。そういえば毎年4月からは南側道路で消防団のポンプ操法の訓練も始まります。皆、仕事を終えてからのもう一仕事です。

現在も造成は続いており、鹿骨スポーツ広場などもこの公園の一部になります。公園西側住宅地の立ち退きも始まり、空き地が点在しています。篠崎公園の完成はまだ先なのです。

桜の木が多く植えられていて春は見事な花を咲かせます。



参考資料

「江戸川区地域防災計画」

江戸川区防災会議／編

K1-31

篠崎ほか所蔵

「むかしの江戸川区(解説シートNo.9-9)」

江戸川区郷土資料室／編

K1-21

篠崎ほか所蔵

編集後記

私は続投します。これからも新編集員と共に、読みやすく、面白い広報紙を目指して頑張ります。(風雲ふわふわ丸)／春は旅立ちの季節。ぷらっつ編集部も入れ替わりますが、これからも新しい“ぷらっつ”を宜しくお願いします。(ジーク・信玄)／3年半お世話になりました。読者の皆様と素晴らしい本たちに感謝いたします。(愛燦燦)／思えばいと疾し、この歳月……。ぷらっつ作成に携わって2年間、忙しくも充実した日々でした。ありがとうございました。(まろにえ船長)

編集・発行：江戸川区立篠崎図書館

住所：〒133-0061

江戸川区篠崎町7-20-19

篠崎文化プラザ内

TEL:03-3670-9102

[しのぎ文化プラザHP]内篠崎図書館ページ

<http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>